

校長室から

東京都立武蔵野北高等学校
校長 鶴飼敦之

「武蔵野北に夢をのせて」

『3学期 始業式 新年の挨拶』

みなさん明けましておめでとうございます。

昨年に続きコロナ禍でのお正月はどうでしたか？

まだ外出は控えめで、家で過ごしたひとも多かったのではないのでしょうか？

自分が思い描いていた高校生活を送ることが出来なかった2年間でしたね。

今年こそは貴重な高校時代を満喫できることを願っています。

今日は1月7日。「七草粥」をいただく日です。朝食に粥を食べた方もいることでしょう。今日、粥を食すと邪気を祓い無病息災が得られると伝わります。古くは萌え出たばかりの七草の芽を食べることで、新しい生命力を身に付けようと願ったものだそうです。お節料理で疲れ気味の胃腸には優しい食べ物ですね。

そして、今朝は一面の銀世界でした。昨日から学校周辺では10cmくらいの降雪がありました。昨年末の寒波で大雪のあった地方の方から見れば、わずかな雪でしたが、交通機関のトラブルなど改めて東京の弱さを感じさせられました。



さて、新年の挨拶といいますと干支にちなんで、これを説き起こすことも多いようです。言うまでもなく令和4年は寅年、十干十二支では壬寅(みずのえ・とら)となります。辞典によると、「壬」は「婦人の懐妊の形に象って、その意を表はす」とあります。一方「寅」の字については中国の歴史書によれば「春の胎動、春の象徴。草木が生ずる、成長、発育、誕生の意」とのこと。ということで、「壬寅」は厳しい冬を越えて、万物が芽吹き始め、新しい成長の礎となる年、ということになるようです。何ともめでたい年を表していそうです。

1、2年生は新学年へ進むにあたり1、2学期を振り返ってやり残したことを、できなかったことを総まとめにする学期です。新年にもう一度気を引き締めましょう。

3年生はもう間もなく次のステージへ進みますね。

順調ですか？ くれぐれも体調には気を配ってくださいね。

共通テストを受験する人も多いことと思います。年末に松原先生から Teams でもお知らせしたとおり、新型コロナウイルスの濃厚接触者の別室受験が認められました。とはいっても、り患しないにこしたことはありません。十分、健康管理に気を付けて臨んでください。

中学校を終える時よりも高校を終えるときの方がずっと同級生の進路は様々です。具体的に将来の進路を絞っている人。自分は将来どうしようか？ 決まらない人。様々でしょう。でも、あなたたちはまだまだ知らないことが沢山あります。進学したり、社会へ出たりした時に経験する新しい世界。そこから新しい興味が生まれること、知らない自分に出会えることは沢山あるでしょう。

最近のニュースで、日本の民間人が数日間、宇宙旅行をしたという報道がありました。実は昨年11月、日本の宇宙航空研究開発機構 JAXA が国際的な月探査計画に参加する新たな日本人宇宙飛行士を選抜することを明らかにし、現在募集中です。

JAXA が以前に宇宙飛行士の選抜試験を実施したのは13年前。その試験にチャレンジした、内山さんという方がいます。最終選考の10人にまで選ばれたのですが残念ながら飛行士にはなれませんでした。宇宙飛行士選抜試験はとてもハードルが高いのはよく知られています。それに挑んだ内山さんは試験には失敗だったけれど、そこから学んだことがとても多く、また新たな自分の目標が生まれたのだと語っています。

今では技術者として日本の有人宇宙開発をすすめる新たな夢を追いかけているそうです。

内山さんの書いた「宇宙飛行士選抜試験 ファイナリストの消えない記憶」、実は私もまだ読んでいませんが、ぜひ読みたいと思っています。

皆さんに宇宙飛行士を目指しましょうと言っているのではありません。

目指して欲しいのは「必死になって物事に取り組むこと」です。

高校の勉強は中学よりも専門的になって勉強する意味が見出せなくなることもあるかもしれませんが、でもそれは、皆さんが新しい世界、新しい自分に出会うためのきっかけになることなのです。ぜひ、本気で挑んで欲しいと思っています。

いい結果になればもちろん喜ばしいことですし、たとえ失敗してもその経験は大きな価値があるでしょう。失敗を恐れずにチャレンジしてください。ただし100%で。

あなた達にはきっと出来ると思います。

では、3学期も皆さんが良いスタートを切れるよう願っています。